



令和7年度 府中市立府中第七小学校 学校経営計画（概要版）

東京都教育ビジョン（第5次）
 【東京都の目指す教育】
 ■誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望をもって自ら学び、育つ教育
 【「未来の東京」に生きる子供の姿】
 ■自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができる
 ■他者への共感や思いやりをもつとともに、自己を確立し、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与する

第3次府中市学校教育プラン「目指す人間像」
 【人権感覚と規範意識】
 他者も自分も大切にする、思いやりと規範意識のある人
 【社会的な資質・能力】
 社会の一員としての自覚をもち、社会に貢献しようとする人
 【確かな学力】
 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人

府中市立府中第七小学校 教育目標

「つよく」 丈夫な体と強い意志をもち、責任をもって最後までやり遂げる力。
健やかな体の育成 ～しんの強い子～ 【行動力】

「ただしく」 基礎学力を身に付け、真理と正義を愛し、主体的に考え、判断し、すすんで創造的に行動する力。
確かな学力の向上 ～学び続ける子～ 【問題解決力】

「あたたかく」 自他の人格を尊重し、豊かな心情をもって共に生きることのできる力。
豊かな心の醸成 ～思いやりのある子～ 【人間関係形成力】

重点目標

「つよく」自己肯定感をもち、意志決定力を育み、すすんで活動する。
 「ただしく」基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、学力を向上させる。
 「あたたかく」礼儀正しい挨拶が、すすんでできるようにする。

目指す学校像 「みんなの笑顔が自慢！明日も来たくなる学校」

(1) 「わかる」「できる」「たのしい」授業 (2) 安全で安心できる学校 (3) 体験活動の充実 (4) 地域や保護者と共に創る学校 (5) 学校の取り組みが見える学校 (6) 多様な個性を認め合う学校 (7) 府中第七中学校との小中連携・一貫教育の推進

- 七小の七つの宝《目指す児童像》**
- ◎ あいさつが上手である。
 - ◎ 話の聞き方が上手である。
 - ◎ 発表の仕方が上手である。
 - ◎ 元気に歌が歌える。
 - ◎ ルールを守れる。
 - ◎ 素直である。
 - ◎ 思いやりがある。

- 《目指す教職員像》**
- (1) 教職員がそれぞれの持ち味を発揮し、創意とチャレンジの気概をもって活躍し、協働できる組織力の高い職場づくりを推進する。
 - (2) 「OJT」に取り組み、学び続ける。
 - (3) 「分かる・できる」「確かで豊かな学びのある」「楽しいと思える」授業を実践する。
 - (4) 児童の「安全・安心」に常に配慮し、行動する。
 - (5) 教育相談体制を整え、特別支援教育を推進する。
 - (6) 学校を保護者、地域に開き、連携する。
 - (7) 法令遵守、服務規律の徹底。
 - (8) 武蔵台小学校・府中第七中学校との小中連携、一貫教育を推進する。
 - (9) 働き方改革「男性職員の育業取得の促進」
 - (10) 危機管理

教育活動の目標と方策

① 4つの視点「発見すること」「対話すること」「決定すること」「表現すること」を取り入れた授業により、主体的に学ぶ児童を育成する。

- ・「発見すること」：児童が自ら課題を見つけられるような授業の展開を工夫する。
- ・「対話すること」：対話する必要性を児童が感じられる授業づくりを行う。
- ・「決定すること」：課題解決に向けて学習方法や表現方法を児童が選べるようにする。
- ・「表現すること」：国語科「話すこと・聞くこと」の校内研究を通して、豊かな表現ができる児童を育成するための単元開発を行う。

② 互いの違いを認め、友達を信頼し、助け合ったり、高め合ったりすることができるようにする。

- ・児童一人一人の良さを認め、伸ばす。
- ・縦割り班の活動を通して、リーダーシップ及びフォロワーシップを養う。
- ・人間関係形成力や自己肯定感を高めたり、自己実現を図ろうとする態度を育成したりする。
- ・集団での課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図る。
- ・「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」を推進し、府中を愛する心を醸成し、豊かな人間性を育む。
- ・全校で「手話」に取り組んだり、講師を招いて「デフスポーツ」に挑戦したりする。

③ 多様な運動経験を通して体力の向上を図る。

- ・「体力テスト週間」「マラソン週間」「なわとび週間」。全学年「ふちゅうロープチャレンジ」（長縄8の字連続とび）に参加。
- ・中休み、昼休みと誘い合って自由に遊ぶ時間と、大勢での外遊びができるように、学級や学年で係をつくり、計画的に遊ぶ時間をもつ。

④ 道徳教育の充実を図り、温かで豊かな心を育てる。

- ・人権が守られているキーワード「安心して、自信をもって、自由に選べる」ことを理解し、実践する。（「人権作文コンクール」に参加）
- ・弁護士会の「いじめ未然防止」の授業を通して「いじめ」を許さない校風をつくる。
- ・日々の教育活動を通して、偏見、差別、いじめの芽を見逃さない。
- ・「いじめ対策委員会」を迅速に運営する。
- ・生命のかけがえのなさを理解し、大切にできるよう指導する。
- ・「道徳授業地区公開講座」を計画し、家庭や地域との共通理解、連携を図る。
- ・「郷土府中に根ざした道徳資料」を活用した授業を行う。

⑤ 保護者や地域と連携した教育活動の推進

- ・ホームページの充実
- ・学校だより・保健だより・学年だより・学級だより・専科だよりの発行
- ・地域行事への参加、「ふれあいコンサート」への参加等を推奨し、全教職員が地域理解を深める。

地域協働・チーム七小

- ・PTA、スクール・コミュニティ協議会、七小防災会議、POP（おやじの会）、青少対、町会、府中PFSと連携し、地域に根差したよりよい教育活動を推進する。